

# 図書館だより

## 本は人生の参考書

児童作家 村尾 靖子  
(江津市在住)

ある女子高生から手紙をいただいた。その中に「人は なんのために読書をするのか自分なりに考えてみました。」というくだり件があった。子ども達の読書離れが進んだと呼ばれて久しい。そんな中で読書についての私見を堂々と述べる高校生に出会えたことがひどくうれしかった。

初めての著作「命をみつめて」(岩崎書店)を世に出してから、早くも五年の歳月が流れ、「江の川——いのちと愛と」(岩崎書店)の上梓から半年が過ぎた。その間、思ひがけない出会い、ふれあいが数多くあった。この手紙の女子高生もそんな一人である。

出版直後に出版界に明るい友人から「本というものは著者の思いはどうあれ、世に出ると勝手に一人歩きをするから、どんな人に、どんな読み方をするのか意外性があるって楽しいよ」と言われたことがある。

考えてみると、この五年間は楽しみどころか、驚きの連続だったように思う。本と人との関り、一冊の本がもたらす波紋、わだち、を多くの人々から見せていただくことができたからだ。

女子高生の手紙は続く。

「私には、たくさん、たくさんの悩みがあります。たとえ、どんなにすばらしい本を読んだって悩みは解決しないけれど、本は人生の参考書のように思えます。長い人生でつまずいてしまったとき、もっと心豊かに生きたいと思ったとき、教科書では学ぶことができなかっただけど参考書を目と心で繙くのだと思います。」

手紙を読みながら、私は光る石の原石をプレゼントされた思いになった。

人と本との関りをまた一つ教わった。

# 図書館に親しむ

廣田 敏夫 (松江市)

☆十数年も前のこと。ふと学生時代（昭和十年頃）に感動した或る小説を思い出し、県立図書館をさがしたが見付からない。係の人が他館に照会してみようと手配され、後日国会図書館から取り寄せていただいた。よもやと思った念願が叶い大いに感謝感激したことがある。こうした業務をレファレンスサービスと言う。恥かし乍ら、こんな結構な扱いがあることを初めて知った。

☆毎月テーマを変えて企画される「館内資料展」は、図書を中心とするものだから地味だけど、実に豊富で貴重な内容に感心する。例えば、平成2年11月の「島根県の神

社と寺院」資料展は県内各地の神社寺院についての単行本約150冊の他パンフレット類がそろえてあった。今年6月のは、時の話題「食と環境問題」をテーマにしたものである。こうした素晴らしい展示が毎月催されているのに、知る人、見る人は僅かの様に見受ける。もったいないなあーといつも思っているのは私一人だろうか。

☆「図書館を利用しよう」と言う文句に出会ったことがあるが、利用ではなくて「親しむ」ものでありたい。図書館でよく見かける母と子が何か囁き乍ら本を選んでいる姿は本当に眩しく和やかな光景である。

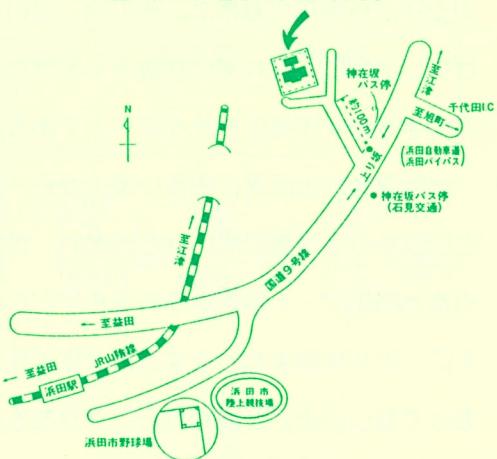
## 県西部の皆様へ 一西部読書普及センター紹介 一 普及係より

当センターは、浜田市市街地の北東部。長沢町にある県立浜田教育センター内に昭和61年4月開設され、県西部の読書普及活動、図書館活動を支援するための事業を行なっています。

読書普及の事業としては、親子・子供読書会や成人読書会に必要な図書の貸出し、指導員の派遣を、図書館活動の支援のためには、市町村の読書施設への図書の一括貸出しや運営についての相談、図書館情報の提供など行なっています。

また、一般利用サービスとして、地域や職場、学校などの団体に、百冊まで三ヵ月以内で貸出もし行なっています。

所 在 地：〒697 浜田市長沢町1550-1  
TEL 0855-23-6785 Fax 23-6783  
(島根県立浜田教育センター内)  
開館時間：9時～17時 (土曜は12時まで)  
休 館 日：毎日曜日。毎土曜日(8月1日より)。  
国民の祝日。年末年始。



# 図書館ってどんなどこ? No.2

## —子ども室紹介—

図書館に入ってすぐ右手に子ども室があります。お堀に面した明るい部屋に、背の低い書架、丸いテーブル、赤・青・黄色のマットなど、子どもの目の高さに合わせたインテリアが揃えています。

室内の子どもの本、開架冊数は1万2千冊。絵本を始め、文学、動・植物、歴史、地理、スポーツなどが各分野別に並べてあり、一つの図書館の集約になっています。

この部屋を利用する、小さなお客さん達の様子は、絵本を満喫する人、動物研究に余念のない人、宿題の調べ物をする人と多様ですが、お母さん、児童文学研究の学生

さんの利用も盛んです。

また、集会室において子どものための講座(!?)も行っています。毎週水曜日の「親子で絵本を読む会」はカーペットの上に座ってお話を聞き、毎月第4土曜日の「子ども読書会」では、テーマ本を読み、文中に出てくる物を作ることもあります。その他、年2回、8月・12月は「子どもの集い」を行います。今回は8月5日に「たなばたかい」を開き、紙芝居、七夕飾りを作ります。

小さい人はもちろん大人の方も、年齢を問わず、子ども室をご利用下さい。

## 新刊案内

### 「翡翠記」 井川 恭著 寺本喜徳編

島根国語国文会刊 平成4 75P 1,000円

大正4年8月、芥川龍之介は旧制一高以来の親友恒藤恭（松江市出身、旧姓井川）の招きで松江を訪れた。「翡翠記」はこの時の二人の交遊を「松陽新報」に連載した隨筆集である。

当時の新聞が欠号のため見ることができなかったが、著者の遺品の切抜帳を元に島根女子短大寺本教授により復刻された。芥川来松時の日程、行程を知る新資料であり、芥川が後「松江印象記」として著した作品の関連資料として注目される。

（恒藤恭は京都帝大卒、大阪市大学長等を務  
めた法学者。昭41年文化功労者。）

### 「やさしい飲み水の話」

本間 都著

北斗出版 1,339円

最近の地球環境保護意識の高まりのなかで、“飲み水”にも関心が集まっています。

本書は、そうした飲み水に焦点を当て、いかに我々が飲み水に対して無関心であったか、そして、関心を払わねばならないかという重大性を提議してくれます。

大阪で住民運動に立ち上がった著者に、また、彼女が見つづけた淀川の問題点に、我々島根の人間が学ぶべき点は大いにあるのではないでしょうか。

# 行事予定

8月



1 土
古文書を読む会(中世) 13:30～15:30

2 日	3 月 休館日	4 火	5 水 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	6 木	7 金 出雲国風土記を読む会 13:00～15:00	8 土 古文書を読む会(近世) 14:00～16:00
9	10 月 休館日	11 成人読書会 13:00～15:00	12 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	13	14	15
16	17 月 休館日	18	19 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	20 万葉集を読む会 14:00～16:00	21	22 子供読書会 14:00～16:00
23	24 月 休館日	25	26 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	27	28	29
30	31					

○館内資料展示……「高校野球資料展」

9月



1 火	2 水 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	3 木	4 金	5 土 古文書を読む会(近世) 14:00～16:00
6 日	7 月 休館日	8 成人読書会 13:00～15:00	9 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	10 万葉集を読む会 14:00～16:00
11 出雲国風土記を読む会 13:00～15:00	12 子供読書会 14:00～16:00			
13	14 月 休館日	15	16 親子で絵本を読む会 15:00～16:00	17
18		19 古文書を読む会(中世) 13:30～15:30		
20	21 月 休館日	22	23	24
25		休館日		26
27	28 月 休館日	29	30 休食官日	

○館内資料展示……「老いを考える資料展」



編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成4年7月20日

FAX 0852-22-5728